

ドラムユニット交換手順書

本書の手順に従ってドラムユニットを交換してください。

本体付属の取扱説明書CD-ROMに収められている e-マニュアルに記載された「安全にお使いいただくために」も必ずお読みください。

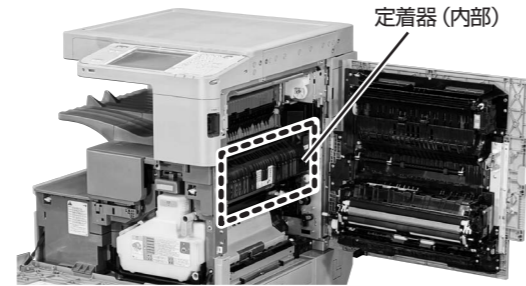
警告

- 本体内部には、高圧になる部分があります。ドラムユニットを交換するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が本体内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸い込まないように掃き集めるか、濡れた雑巾などで拭き取ってください。粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になることがあります。

注意

- トナーを誤って飲んだときは、直ちに医師に相談してください。
- トナーが衣服や手に付着したときは、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。
- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。本書で説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- ドラムユニットなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。

- ドラムユニットを交換するときは、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。



重要

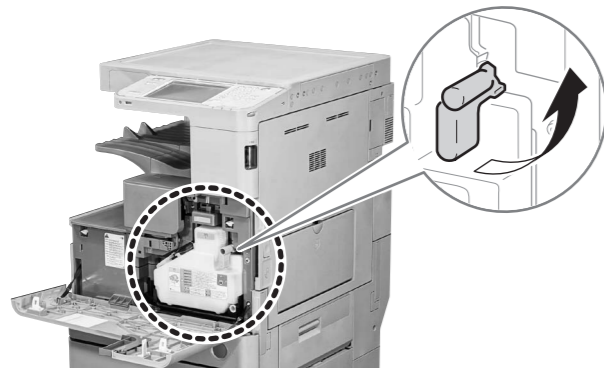
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- ドラムユニットは、保護袋に入っています。ドラムユニットをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。
- ドラムユニットを取り付けたあと、カバーを開けたまま長時間放置しないでください。
- 一度使用したドラムユニットを再度プリンターに取り付けしないでください。ドラムユニットの寿命が正しく検知されなかったり、故障の原因になることがあります。
- ドラムユニットは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムユニットは、絶対に分解や改造などをしないでください。

本体からドラムユニットを取り外します。

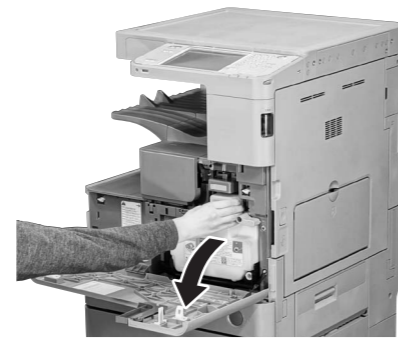
1 本体前カバーを開きます。



2 レバーを回して、回収トナー容器のロックを解除します。



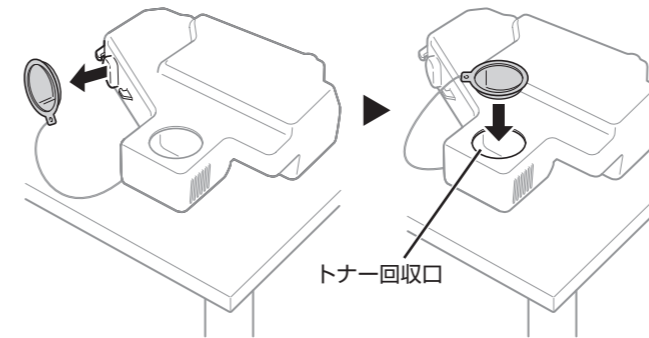
3 回収トナー容器を取り外します。



重要

- 回収トナー容器を傾けると、トナーがこぼれることがあります。トナーをこぼさないように注意してください。

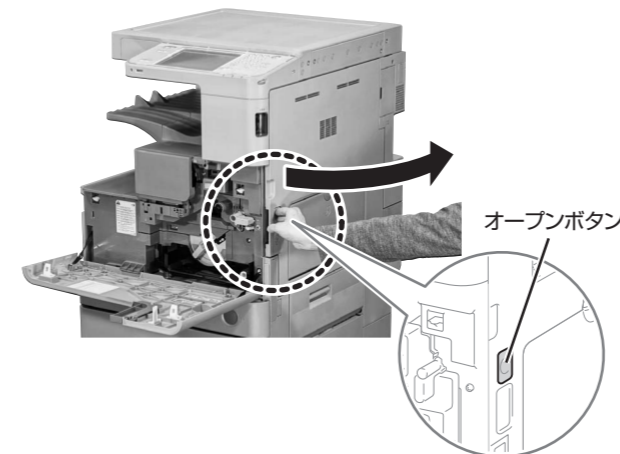
4 回収トナー容器からキャップを外し、トナー回収口にふたをします。



重要

- キャップを外すときは、トナーをこぼさないように机上など安定した場所で作業してください。
- 回収トナー容器は必ずふたをしてください。

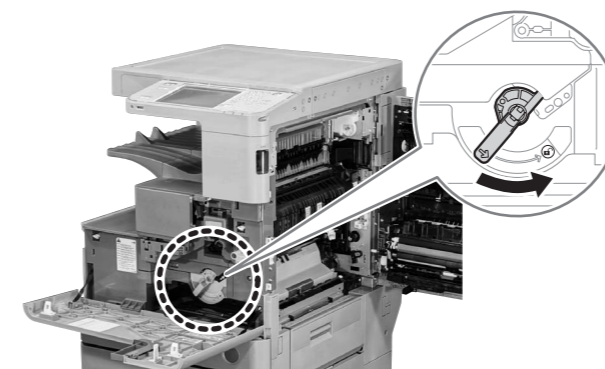
5 本体右側のオープンボタンを押し、右カバーを開きます。



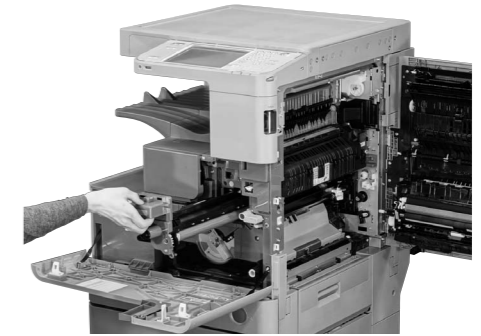
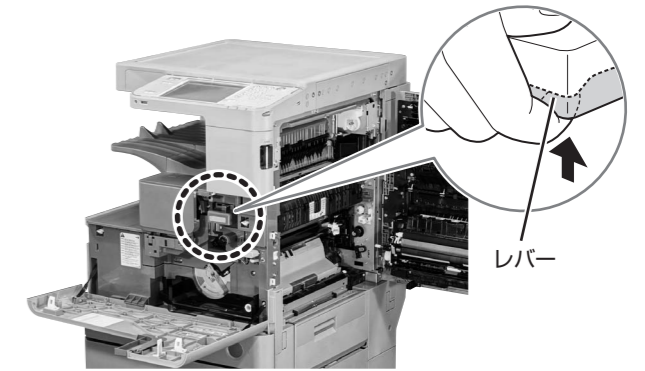
重要

- 右カバーは、開けたまま作業してください。作業中に右カバーを閉じると、ドラムユニットを損傷することがあります。

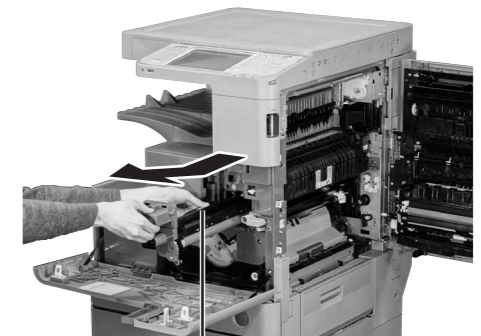
6 レバーを回して、ドラムユニットのロックを解除します。



7 取っ手内側のレバーを押しながら、止まるまでゆっくりとドラムユニットを引き出します。



8 青マーク部分を持ち、ドラムユニットを上方に引き出します。



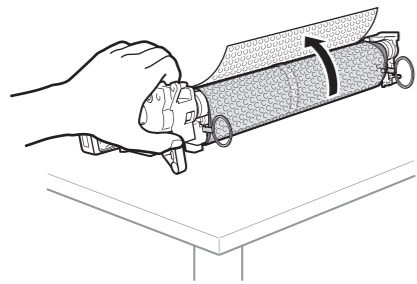
メモ

使用済みドラムユニットの回収方法は、裏面をご覧ください。



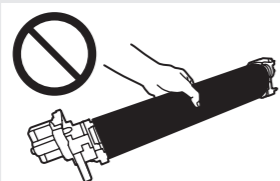
新しいドラムユニットを本体に取り付けます。

9 新しいドラムユニットを取り出し、オレンジテープと緩衝材を外します。

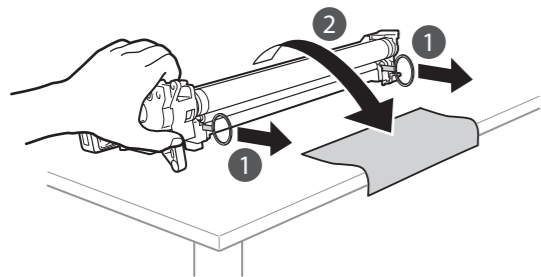


重要

緩衝材を外したあとは、黒い保護シートの上からつかまないでください。印刷時の画像の不具合などの原因になります。

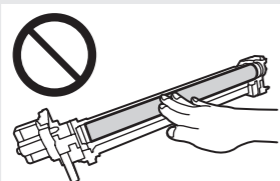


10 オレンジのリング（2個）を引き抜き、黒い保護シートを外します。

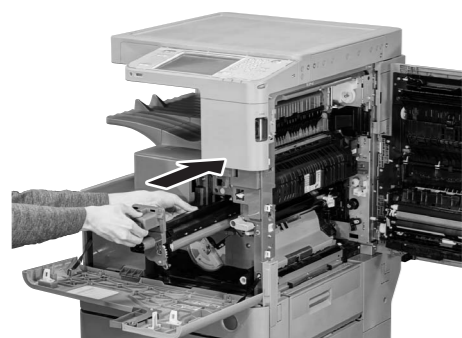


重要

作業中はドラム表面（緑色部分）に触れないでください。印刷時の画像の不具合などの原因になります。



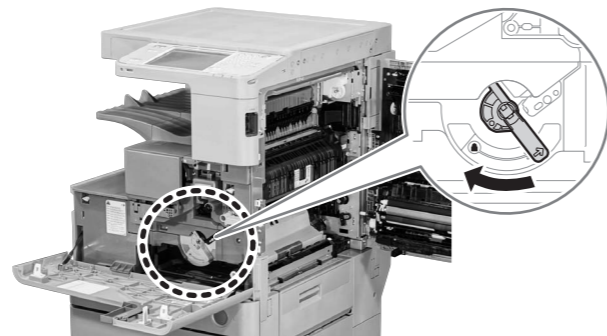
11 取っ手と青マーク部分を持ち、ゆっくりと水平にドラムユニットを差し込みます。詳しくは、右記の「ドラムユニットの差し込みかた」を参照してください。



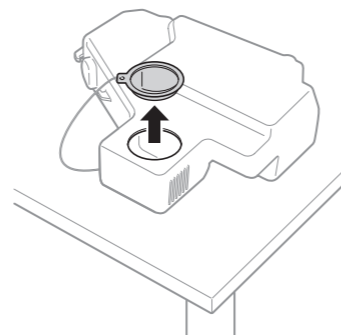
重要

作業中はドラム表面（緑色部分）を触ったり、ぶついたりしないでください。

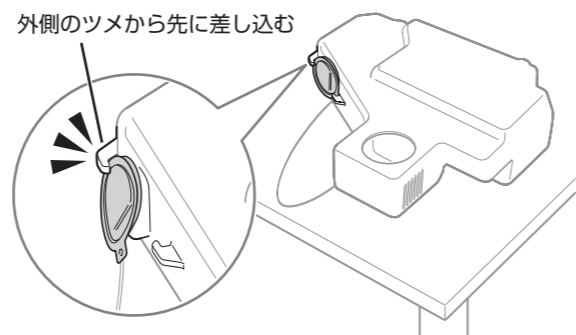
12 レバーを回して、ドラムユニットをしっかりとロックします。



13 回収トナー容器のキャップをトナー回収口から外します。

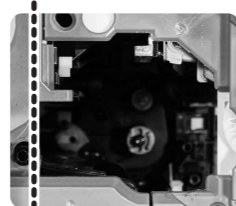


14 キャップを回収トナー容器の突起部に取り付けます。

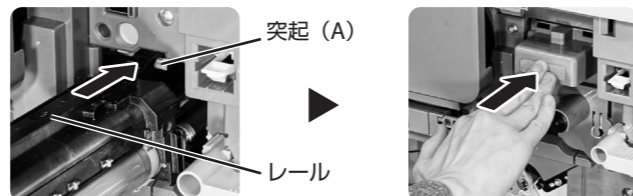


■ドラムユニットの差し込みかた

ドラムユニットを挿入口の左側に合わせながら、ドラムユニット上部のレールが突起(A)の上を通るように差し込みます。



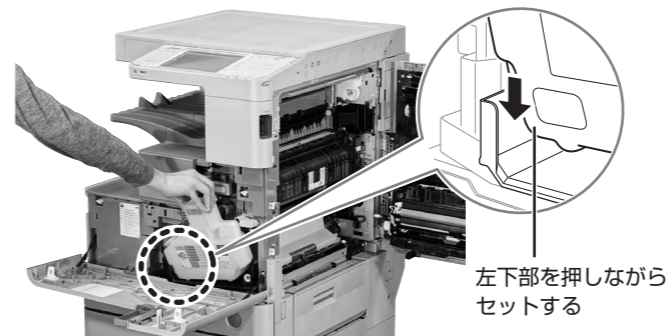
挿入口の左側にドラムユニットを合わせる



重要

ドラムユニットは突き当たるまでスライドし、奥までしっかりと押し込んでください。

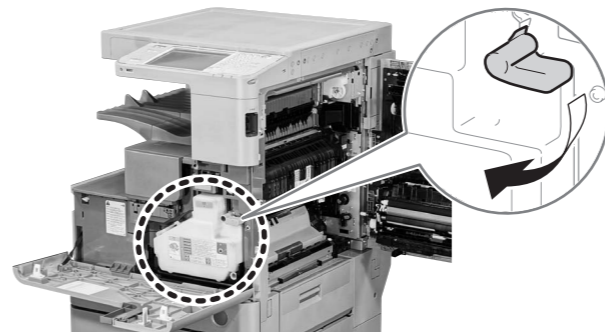
15 回収トナー容器を左下部からセットします。



重要

回収トナー容器が入らない場合は、手順6～12を参照し、ドラムユニットがしっかりと奥まで押し込まれているか確認してください。

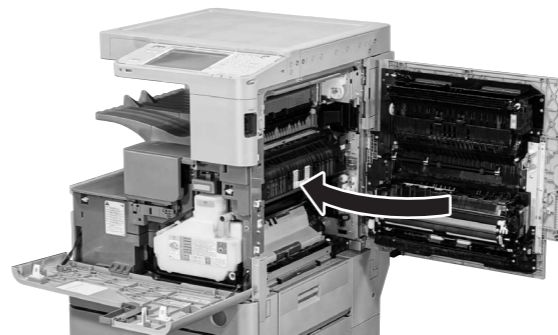
16 レバーを回して、回収トナー容器をロックします。



重要

回収トナー容器をロックできない場合は、手順6～12を参照し、ドラムユニットがしっかりと奥まで押し込まれているか確認してください。

17 右カバーを閉じます。



18 前カバーを閉じます。



重要

前カバーが閉まらない場合は、手順6～12を参照し、ドラムユニットがしっかりと奥まで押し込まれているか確認してください。

ドラムユニット初期化を行います。

19 操作パネルの (設定/登録) を押します。

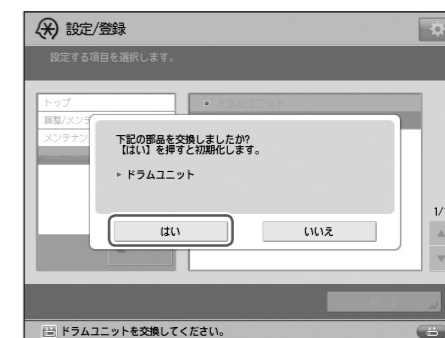
メモ

タッチパネルディスプレイに「ドラムユニットの交換」画面が表示されている場合は、「閉じる」を押してください。

20 タッチパネルディスプレイの「調整/メンテナンス」を押します。

21 「メンテナンス」▶「部品交換後の初期化」▶「ドラムユニット」を押します。

22 「はい」を押します。



初期化が終了すると、「初期化しました。」が表示されます。

23 「閉じる」を押します。

以上でドラムユニットの交換は終了です。

使用済みドラムユニットの回収にご協力ください。

回収にはドラムユニットが梱包されていた箱をお使いください。使用済みドラムユニット1本から訪問回収を無料で承っております。詳しいご案内やお申込みは、キヤノンホームページをご参照ください。ホームページをご覧になれない場合は、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

canon.jp/recycle

FAXによるご依頼も、ホームページから依頼票をダウンロードのうえ、ご利用いただけます。

050-555-90095

お客様相談センター 回収に関して（全国共通番号）

【受付時間】 <月～金> 9:00～12:00 / 13:00～17:00
土日祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。

※ プリンター本体に関するお問い合わせは、取扱説明書に記載されている窓口をご利用ください。